

令和 7（2025）年度 事業計画

一般財団法人 保健福祉広報協会

本会は、国内外の福祉機器の開発と利用促進に資する事業を行うことを目的として、「国際福祉機器展&フォーラム（H.C.R.）」（実展示会ならびに Web 展）を基軸の事業として実施してきている。また、公益目的事業として保健福祉の推進のための広報や調査研究事業の実施とともに、社会保障・福祉制度の課題や最新動向をテーマにしたシンポジウム、セミナー・講座を開催し、わが国の保健福祉のさらなる増進に努めていく。

特に、超少子高齢化・人口減少社会のなかで、医療、介護、年金などの社会保障制度の持続可能性や福祉・セーフティーネットの改革など、いわゆる「2040 年問題」を見据えた対策が国において検討される。こうした背景を踏まえ、第 52 回を迎える H.C.R.2025 は、人生 100 年時代の到来に向けて、福祉機器の利活用を促進することで、豊かで活力ある未来を創造することをめざし、「クリエイティブな未来を拓く」をテーマに掲げ、高齢者、障害のある人々、子どもたちの自立生活、社会参加のためのセミナー・講座やスポーツ体験等を企画実施する。

また、昨年度に引き続き、大規模災害への備えに対する啓発や福祉のポジティブな魅力を伝える企画展示等、多様な事業を通じて地域共生社会づくりに資する情報発信を行う。

1. 実施事業等会計事業（公益目的事業）

（1）ふくしの国際シンポジウム開催事業

① 国際シンポジウムの開催

- ・ わが国では 2000 年の介護保険の導入から今年で 25 年を迎え、介護を支える人材確保が大きな課題となっている。また、先行して介護保険を導入したドイツも 30 年の節目を迎えた。そこで、日・独両国の講師から、それぞれ制度の歩みを振り返りつつ、今後一層の高齢化が進む中での財政や人材確保の見通し、ICT や介護補助ロボットの活用に向けた取り組み等を紹介いただきながら、今後の持続可能性を展望する。

（2）ふくしのセミナー・講座開催事業

① 保健福祉・介護等に関わる最新トピックセミナー（セミナーA）

- ・ 超少子高齢化・人口減少社会において、誰もが自立し生きがいのある豊かな生活を営むことができる地域共生とそのコミュニティを維持する社会づくりを展望するため、認知症・フレイル予防や高齢者の移動支援、合理的配慮などをテーマに多様な実践を紹介する。
- ・ 阪神・淡路大震災から 30 年となる本年、その後の大規模災害での福祉支援活動を振り返りつつ、今後の災害防止、被災時の福祉的支援、地域での支え合いの重要性について理解を深める。
- ・ 東京 2025 デフリンピックの開催を直前に控え、開催の意義や競技の魅力を伝え、障害者スポーツへの理解促進を図るための情報提供を行う。

② 福祉施設・在宅サービス事業所等の専門職向け講座（セミナーB）

- ・ 介護支援専門員をはじめ介護福祉士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職向けの「福祉機器の利活用ステップアップ講座」を開催し、在宅での福祉機器の適切な利活用に向けた情報提供を行う。

- ・ 高齢者への座位保持について理解を深め実践に繋げるため、海外より専門家を招き症例ごとの対応や日常生活での様々な場面に応じた実演と講義を行う。

③ 情報通信技術（ICT）等の先端技術導入に関わるセミナー（セミナーC）

- ・ 高齢者や障害のある人のための日常生活における ICT・介護補助ロボット等の機器利活用例を紹介し、自立促進と社会参加に資する情報提供を行う。
- ・ 高齢・障害福祉施設や保育・療育施設におけるサービス向上と負担軽減を図るため、ICT や介護補助ロボット導入に資する情報提供を行う。

（３） H.C.R. ニュース発行事業

① 保健福祉 News による情報提供

- ・ 「保健福祉 News」を発行し、社会福祉関係者はもとより行政、関連企業・団体等に対し国内外の保健福祉分野における情報提供を行う。
- ・ また、H.C.R.Web ページにも電子版を公開するとともに、過去の実展示会来場者を中心としたメールマガジン購読者に対しても広く情報提供を行う。

〔発行予定〕 日本語版 年 5 回発行 / 英語版 年 1 回発行

（４） 広報・調査研究事業

① 世界の福祉機器市場の動向等に関する調査の実施

- ・ 海外における福祉機器開発の状況ならびに高齢化対策の動向を把握するため、欧州の福祉機器展示会や高齢者関連施設等の視察による情報収集を行い、保健福祉 News、Web ページ等を通じて関係者への情報提供の促進を図るとともに、今後の事業展開へ繋げる。

② 福祉機器関連調査の実施

- ・ 福祉機器の利活用に関するニーズ、実展示会・常設展示場等の状況を調査し、その実態を把握するとともに、保健福祉 News や Web ページに掲載し関係者への情報提供をはかる。

③ 出版刊行、情報普及事業

ア) 専門職向け「福祉・介護・リハビリ専門職のための福祉機器活用ガイドブック（仮称）」を制作し、実展示会の「福祉機器の利活用ステップアップ講座」のテキスト等として頒布するとともに、保健福祉 News や Web 等を通じて広く活用を呼びかける。

イ) 国際シンポジウム 2025 報告

H.C.R.2025 で開催する国際シンポジウムの内容をまとめ、保健福祉 News にて報告する。

ウ) H.C.R.セミナー2025 報告

H.C.R.2025 で開催する H.C.R.セミナーの内容をまとめ、保健福祉 News にて報告する。

2. 国際福祉機器展開催等事業

(1) 国際福祉機器展開催事業

① H.C.R.2025 第 52 回国際福祉機器展&フォーラムの開催

ア. 共 催： 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

イ. 開催形態： 実展示会：東京国際展示場「東京ビッグサイト」西・南展示ホール

Web 展：H.C.R.Web サイト内

ウ. 期 日： 令和 7 (2025) 年 10 月 8 日(水)～10 月 10 日(金)

※Web 展は、同年 9 月 1 日(月)～11 月 7 日(金)まで開催

エ. 出展社数： 約 400 社 (見込)

※申込締切日：令和 7 (2025) 年 3 月 31 日

オ. 来場者数： 実展示会：10 万人 / Web 展閲覧数：200 万ビュー (見込)

② 福祉機器に関する最新情報やトピックスの提供

- ・ 研究・開発中または最先端の技術を取り入れた福祉機器を展示する「福祉機器開発最前線」コーナーを設け、開発企業による製品説明を実施する。
- ・ 「おむつ」に特化した企画展示コーナーを設け、従来のおむつのイメージを脱却した未来感のあるコンセプトおむつの展示とともに、おむつの選び方・使い方や SDGs への取り組み等総合的な情報発信を行う。

③ 障害への理解促進に関する体験と情報提供

- ・ 障害や年齢を問わず誰もが一緒に楽しめる障害者スポーツやレクリエーションの体験、ユニバーサルファッションや補助犬、共用品等の関連情報の提供を通じて、共生社会や障害者の社会参加等について理解を深める。

④ 福祉の魅力を伝える情報発信

- ・ 社会福祉施設等の現場で働く若手職員の協力を得て、ふくしの仕事の魅力ややりがい伝える企画展示を行い、学生等の若年層来場者が福祉にかかわるきっかけとなる場を提供する。

⑤ 来場者等参加型の情報交流の促進

- ・ 来場者等との双方向性を持たせた参加型のラジオ配信ブースを会場内に設け、情報交流の場“フォーラム”としての機能を充実させる。

⑥ 福祉サービス利用者への相談支援

- ・ 福祉機器や自助具等に関する利用者向けに作業療法士等による相談・支援を行う。

⑦ 子ども・子育て支援に関する情報提供

- ・ 会場内に「子ども広場」を設け、日常生活や学習支援機器、コミュニケーション機器、レクリエーション等の幅広い福祉機器を展示・紹介する。
- ・ 障害児福祉関係施設職員・リハビリ専門家等からの療育等に関する情報提供・相談支援を行う。

- ⑧ 防災意識向上のための情報提供と被災地支援
 - ・ 大規模災害時に役立つ防災用品・製品の展示や体験企画を通じ、防災意識の向上につなげる。
 - ・ 社会福祉施設等の取り組みの紹介を通して、緊急時の関係者の対応や BCP の策定に資する情報を提供する。
 - ・ 被災地域の障害者施設・事業所の支援のため、会場内で障害者就労支援事業による製品の販売協力を行う。
- ⑨ H.C.R.2026 国内外企業への出展勧奨の強化
 - ・ 本展示会への出展を勧奨するための広報媒体（パンフレット、PR 動画等）を制作し、福祉機器関連分野に留まらず幅広い企業関係者への周知活動を行う。
 - ・ 欧米企業向けの募集活動を強化するため、英語版の広報媒体を制作するとともに、Web ページでも英語での情報発信を充実させる。また、初めて出展する欧米企業への特別割引料金の設定や在日大使館を通じた出展勧奨も継続して実施する。

（２）福祉機器／保健福祉情報提供事業（H. C. R. Web サイト等による事業）

- ① H.C.R.Web2025 の開催
 - ・ Web 展のデザインを一新するとともに、一層の内容充実と利便性の向上をはかる。特に、出展製品のお気に入り登録やセミナーの参加申込みなどを一括管理できる機能（マイページ）等を追加することで、実展示会来場の際の利便性向上にもつなげる。さらに、海外向けの情報発信として、全ての出展社情報および出展製品説明を英語表示可能とする。
 - ・ Web 展の掲載製品を抜粋した「H.C.R.2025 出展製品ガイドブック」を制作し、実展示会の来場者アンケートでの回答者等に無償配布する。
- ② スマートフォンアプリの活用
 - ・ 会場マップ表示やアンケート機能、スタンプラリーなど、実展示会をより快適に楽しくする「H.C.R.アプリ」の活用を促すことで、会場内での利便性と回遊性の向上をはかる。
- ③ ソーシャル・ネット・ワーキングサービス（SNS）を通じた情報発信
 - ・ 本会事業ならびに H.C.R.を周知し、さらに国内外の福祉機器や関連制度・動向等の情報を発信するため、Facebook および X（旧 Twitter）等のソーシャル・ネット・ワーキングサービス（SNS）や本会ホームページ、さらにメールマガジンを用いた配信を行う。

3. 会務の運営

- | | | |
|-------------|----------------|----------------------------------|
| （１） 理事会の開催 | （３回、必要に応じ臨時開催） | 6 月初旬・下旬、10 月 8 日、
2026 年 3 月 |
| （２） 評議員会の開催 | （３回、必要に応じ臨時開催） | 6 月下旬、10 月 8 日、2026 年 3 月 |
| （３） 監事会の開催 | （１回） | 5 月下旬 |